



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成26年2月28日

元木理事長が退任の意向を表明

組合員新年会

新年を祝う恒例の組合員新年会が1月10日(金)午後6時よりホテル青森で開催された。

新年会の開催にあたり元木理事長は、「昨年問屋町は、最優先課題である組合員跡地対策に力強く取り組んできた結果、倒産、撤退が発生したにもかかわらず、年度当初144社であった組合員数が昨

年末には145社となった。また昨年は、全国中小企業団体中央会の支援事業を活用し、組合及び組合員の建物の耐震診断を実施したほか、問屋町近隣における避難場所や緊急時の対応が明記された『問屋町防災ミニガイド』を作成。同ガイドは問屋町で働く全従業員に配付する。今年、昨年12月より実験

事業として行っているパソコンリサイクル事業を本格的に進めていくほか、組合員の新規加入にも大きく貢献するなど重要性が高まっている組合ホームページ等の広報事業について、より魅力あるものにするため、コンテンツの拡充に取り組んでいく」とあいさつした。

あいさつの最後に元木理事長は、体調不良を理由に26年2月で理事長職を退く意向を明らかにし、組合員をはじめ関係各位のこれまでの多大な支援に対し、感謝の気持ちを伝えた。

続いて行われた、佐々木青森県副知事、鹿内青森市長、津島衆議院議員の来賓祝辞では、青森の物流拠点の中心として問屋町がますます発展することへの期待と、辞意を表明した元木理事長の永年にわたる尽力に対する慰労の言葉が述べられた。

次に、問屋町合同清掃10年賞の表彰が行われ、元木理事長より今年度受賞となった5社へ表彰状が贈られた。

その後、新規組合員である、(株)Sokka、東日本日立物流サービス(株)の紹介が行われ、



新年会のあいさつで辞意を表明した元木理事長

青森商工会議所櫻庭専務理事の乾杯の発声で祝宴に移った。

【問屋町合同清掃10年賞企業】

- ▽(株)小田川
- ▽MPアグロ(株)
- ▽(株)電技パーツ
- ▽(株)ヒグチ
- ▽(株)新開トランスポートシステムズ

問屋町会館ロビーにAEDが設置される

このたび、問屋町会館ロビーに自動体外式除細動器(AED)が設置された。

AEDとは、事故や急病などで心停止に陥った患者に電気ショックを与え、蘇生を促す救命機器で、平成16年から医師や救命士などの専門的な医療従事者以外の一般市民にも使用が認められている。

秒単位での処置の早さが生存率に直結するという心停止の救命。AEDの効果的な設置と正しい救命法の普及が求められ、近年、公共施設や事業所などで設置が進んでいる。

また、先日行った組合の事業計画立案アンケートで組合員企業のAED設置状況を調査したところ、7社から設置しているとの回答を得た。そこで、組合では、ホームページ上で問屋町内にあるAED設置事業所を公開する予定。

組合員が事前に自社近くの設置箇所を確認し、緊急時には早急にAEDを使用して救命手当を実施することにより救命率の向上を図る。

今後、AED設置箇所の周知を図るとともに、防災訓練等でAEDの体験講習会を開催し、いざという時に使えるよう備える。



問屋町会館ロビーに設置されたAED



合同清掃10年賞表彰

平成26年度事業計画立案 アンケート結果まとめ

組合では平成26年度の組合事業計画立案に向け、全組合員を対象にアンケート調査を実施し、その回答結果がまとまった。アンケートの回収状況は139社(97・2%)であった。

26年度で10年目を迎える街並・景観整備事業において、今後実施してほしい事業についての設問には、歩道及び街路樹へのハーブ植栽の推進を望む声が最も多く80社(35%)であった。花苗(種)の無料配布、イルミネーションの拡充、大星神社の境内整備

がそれ続いた。労務対策事業に関するアンケートでは、従業員名刺交換会や奥入瀬溪流ハイキング、大間町まち歩きツアー、女子限定の懇親・研修会(女子会)の開催を望む回答が多かった。組合員施設の課題については老朽化対策との回答が61社(38%)で最多であった。特に問屋町地区を中心に老朽化対策に苦慮している組合員が多く、今後、建替えや改築の需要も高まってくると思われる。

組合では、低利(25年度金利0・85%)かつ20年の長期資金を調達できる高度化事業の積極的なPRをし、活用を勧めていく。

問屋町トランクボックス

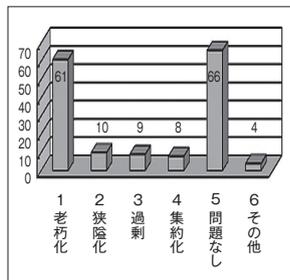
価格改定のお知らせ

平成26年4月1日に消費税率が5%から8%に引き上げられることに伴い、『問屋町トランクボックス』の利用料が同年4月分より、下記の表のとおり改定される。

平成23年12月に組合所有中古物件を小口倉庫として整備してオープンした『問屋町トランクボックス』。24時間365日いつでも出入りでき、施設及び各室には万全なセキュリティを実施。必要な時に必要な期間だけ(1ヶ月単位)利用できるなど利便性が高く、現在は満室状態となっている。

種類	スペース	月額利用料 (税込)	
		現在	平成26年4月~
Aタイプ	1.74坪	9,500円	9,770円
(大)	(幅1.6m×奥行3.6m×高さ2.4m)		
Bタイプ	0.87坪	6,800円	6,990円
(小)	(幅1.8m×奥行1.6m×高さ2.4m)		

トランクボックスに関するお問い合わせは、卸センター業務部(2738-4711)まで。



25年度の問屋町での採用人数は177人 平成25年度求人アンケート調査

組合では、組合員企業の当団地内での採用状況を調査する求人アンケート調査を実施し、141社(回収率97・9%)から回答を得た。アンケートの結果、平成25年度は46社で計177人が新

体力測定で運動不足解消

青森問屋町経営同友会

毎年恒例となっている青森問屋町経営同友会主催の体力測定が、1月16日(木)、午後6時30分から開催された。ゲオフィットネス青森浜田店を貸切して実施された同事業には同友会の会員及び組合員従業員を合わせ、25名が参加した。

参加者は、初めに体組成測定で自身の筋肉量や脂肪量、バランスを確認し、インストラクターからカウンスリングを受けた。その後、ストレッチ運動で凝り固まった体をほぐし、マシントレーニングやスタジオトレーニングで、日頃の運動不足を解消すべく懸



同友会 体力測定

命に体を動かしていた。

施設の課題について

規採用(中途採用含む)され、前年比で49人増加した。また、採用内訳については、新卒者が80人、経験者が97人と、これまで同様経験者採用の比率が高い結果となった。26年度の新卒者採用については、調査段階で、15社の組合員で計60人を採用する見込みであると回答した。

25年度の問屋町での採用人数は177人 平成25年度求人アンケート調査

組合では、組合員企業の当団地内での採用状況を調査する求人アンケート調査を実施し、141社(回収率97・9%)から回答を得た。アンケートの結果、平成25年度は46社で計177人が新

献血で社会貢献

今年度最後となる第3回献血が1月17日(金)、問屋町会館前にて実施された。

今回も青森県赤十字センターの移動献血バスにて行われ、30名が協力。今年度全3回実



第3回献血

施された献血への協力者数は、延べ81名であった。医療機関では慢性的に血液が不足しており、献血サポーターである組合では、身近にできる社会貢献活動である献血への協力を積極的に呼び掛けていく。



昨年の新入社員研修の様子

- ▽新入社員研修
- ①日時
平成26年3月24日・25日
9時30分〜16時30分
※3ヶ月後にフォローアップ研修開催
- ②場所
問屋町会館1階会議室
- ③受講料
1人 16,000円(税込)
※テキスト・昼食代含む

TOTO 水まわりのコンビニ **水彩プラザ**

パッキン一枚からウォシュレット取付け
TOTO和洋リモデル、水まわりリフォームまで
当社におまかせください。

バックアップ
いたします

自分でTRY
プロにお任せ

株式会社ムラバヤシ
〒030-0131 青森県青森市問屋町一丁目8-27
TEL 017(738)4165 FAX 017(738)1852

地球にやさしい
エコロジーペーパー

可 齋 藤 紙 店

本店 青森市問屋町2丁目12-22
☎(017)738-6611 ☎(017)738-9542
メールアドレス order@paper-kanemaru.com

八戸営業所 八戸市柏崎3丁目7番9号
☎(0178)22-1902 ☎(0178)22-1985

死亡事故ゼロ6千日達成
まであと1ヶ月

平成26年4月1日をもって、問屋町内交通死亡事故ゼロ6千日を達成する予定となっている。

当組合並びに青森交通安全協会問屋町支部では、昭和61年7月から問屋町内交通死亡事故ゼロ推進運動を開始。4回目の挑戦となった今回は、平成9年10月28日にスタートを切り、順調に記録を伸ばし、平成23年7月には死亡事故ゼロ5千日を達成。そこからさらに日数を積み重ね、間もなく6千日達成となる。



街頭指導で安全運転呼びかけ

積した雪で道幅が狭くなり、交差点の見通しも悪い。また、吹雪で視界が遮られるなど、まだまだ危険な状態が続くことが予想される。運転時にはより一層の注意を払い、安全運転の励行と周知徹底を強く望む。

問屋町会館で厄除け祈願

組合では、組合員企業従業員に対する福利厚生事業の一環として、2月4日(火)午後零時15分より問屋町会館1階会議室で「平成26年問屋町新年合同厄祓い」を開催した。今回で2回目の開催となる合同厄祓いには、お昼休みを利用して、組合員従業員17名が参加した。

当日は会議室に祭壇が設置され、大星神社の沼田禰宜(ねぎ)による厄祓いの祈禱が行われ、参加者は自身や家族の無病息災等を祈願した。沼田禰宜は「厄年とはただの迷信や言い伝えではなく、



問屋町会館で合同厄祓い

統計的にも厄難に遭いやすい時期である。自分は厄年だと心に留めて行動することが重要となる」と語った。最後に参加者は「お守り」「お札」「御神矢」を受け取り、厄祓いは無事終了した。

組合員訪問

今回は、昨年12月に青柳から問屋町に移転し、新規組合員となった東日本日立物流サービス株式会社東北物流部青森係の木下係長にお話を伺った。

同社は日立グループの一員として昭和37年に茨城県に設立し、貨物の輸送・配送や、精密機器・重量品等の運搬・搬入、電機機器の組立・梱包・発送等を主な事業内容としている。また、全国に関連会社があり、日本のみならず世界中にネットワークを展開し、幅広い顧客の要望に応じている。



東日本日立物流サービス株式会社 青森係 係長 木下 宏一氏

「当社は、コストの削減や在庫の圧縮等「物流の合理化を考えると、何から手をつけたら良いのかわからない」とお悩みのお客様に、システム物流(3PL)を提案しています。お客様の物流業務の現状分析から作業運営に至るまで当社が行い、お客様が物流に煩わされることなく本業に集中できるように、フルサポートいたします。その他にも、当社は自動車の整備・販売や人材派遣、特別管理(PCB)産業廃棄物収集運搬等も行っています」と話す。

青森での主な業務について伺

「現在の事務所には約350坪の倉庫が併設されており、ここを貸倉庫として活用する予定です。東京のグループ会社から専門の営業部隊を呼び、青森市内で営業活動中です。皆さん

「私は50歳を超えています。身体には病气やけが等悪いところは一つもないです」と自負。健康の秘訣は、学生時代陸上部で鍛えた身体と、毎晩おいしいお酒と肴でリフレッシュしていることと見受けられた。(52歳)

新たな取り組みについて尋ねると、「現在の事務所には約350坪の倉庫が併設されており、ここを貸倉庫として活用する予定です。東京のグループ会社から専門の営業部隊を呼び、青森市内で営業活動中です。皆さん

編集後記

一面でもお伝えしましたが元木理事長が組合新年会で出席組合員・来賓の前に二月理事会で退任したい旨の意向を表明されました。皆様驚かれたと思います。

が、元木理事長は昨年からは体調不良が続き熟慮の結果の決断でした。元木理事長は、平成十三年に副理事長、平成十四年からは理事長として、その間大病をされたにも関わらず組合活動に尽力されました。氏はこの十二年間に訴訟、組合員の倒産撤退と組合の大変動期を見事なリーダーシップで現在の組合数一四五社まで立て直されました。元木理事長が取り組まれた主な事業は次のとおりです。平成十三年には組合の定款・規約を大改正、現在の組合のガバナンスの基礎を創りました。環境面の取組みでは平成十四年に組合の紙類リサイクル事業に着手されゴミを半減させました。平成十七年には団地内の汚水処理を青森市に移管し、組合のインフラを整備、将来の組合負担を激減させました。平成十六年からは組合の景観事業にも取り組まれ問屋町のイメージを一新しました。平成二三年には問屋町ビジネススクールの立上げました。金融事業についても平成十四年・平成二十四年と二度に渡り時代対応する改正を行いました。等。そして、今二月理事会で西副理事長が第八代理事長に選出されました。49歳全国卸団地で多分一番若い理事長の誕生です。(藤本)



らーめんはちもり
青森市問屋町2-10-3
TEL 017-752-9215
【営業時間】
【平日】午前10時～午後3時/
午後4時～午後7時
【日・祝日】午前10時～午後3時
【定休日】毎週火曜日
問屋町東口
サークルK
青森銀行
らーめんはちもり
郵便番号

KANKO
カンコースクールウェア & スポーツウェア
夢をえがく、はぐむ、かなえる！
子どもたちの未来を応援します
丸文さとう株式会社
〒030-0131 青森市問屋町一丁目9-22
TEL: 017-738-4721 FAX: 017-738-4725